

第119号

12月定例会

大月町
議会だより

令和7年2月1日発行
高知県大月町議会

まき 大月町遺族会・田中満亀さんの願い

戦争で悲しむ人

を作ってはならない

2024年11月8日、改善センターで第30回戦没者追悼式が行なわれ、みんなで平和を誓いあいました。遺族の田中満亀さん(小才角)は、「わたしのような戦争遺児を作らないでください」と追悼の言葉を述べました。戦争によって悲しむ人を作ってはならないという田中さんの熱い想いをかみしめ、わたしたちは平和を求め続けていかなければと思います。

追悼の辞

大月町遺族会副会長

田中満亀

(略)ここに五百五十柱の御霊に思いを馳せる時、万感胸に迫り何十年経とうとも忘れ得ぬ深い悲しみが消えることはありません。

手元に昭和十九年だと思われる一通の赤茶けた軍事郵便葉書があります。それが、父から母への最後の葉書だと思えます。

中支檜第二五一〇部隊本部より(検閲済)

将に国家一大飛躍を為さんとするや、必ず試練の時あり、今正に之也。心中即に妻なく子なく生死又不論、只大命を奉じ一意奉公のみ。但し汝は予に代りて父母に仕えて考、子に対しては、賢母たれ。予は汝が両親への孝養を尽くされると信じ、安心して奉公す。

ますよし
益昌から妻への葉書 要約

国家が大きな飛躍を遂げようとする時には、必ず試練の時が訪れる。今まさにその時である。心の中には妻も子もなく、生死も問わず、ただ大命を受けて一心に奉公するのみ。ただし、あなたは私に代わって両親に仕え、子どもに対しては賢い母であってほしい。私はあなたが両親への孝行を尽くしてくれると信じているので、安心して奉公に励む。

満亀はもう大部大きくなったことだろう。写真を送れ！笑うか？人の顔を知るか？見たし見たし、父性愛か？



追悼の辞を述べる田中満亀さん

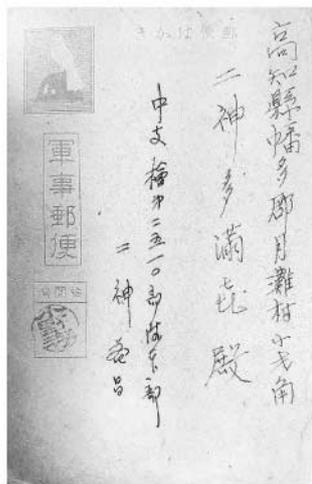
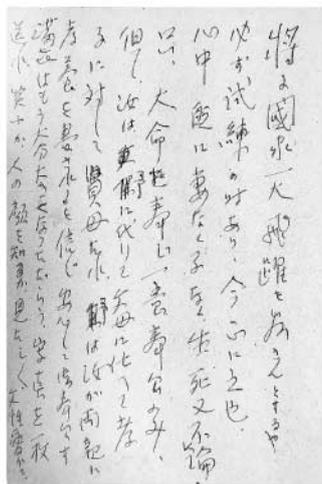
次の世代へ伝えたい



満亀はもう大部大きくなったことだろう。写真を送れ！笑うか？人の顔を知るか？見たし見たし、父性愛か？（下記要約参照）

これはドラマではありません。二十代後半の私の父の文章です。たった一日だけ我が子を風呂に入れた・・・という父からのメッセージです。父の顔を知らぬ遺児は八十才を過ぎました。次の世代へこの悲しい出来事を伝え二度と私たちのような戦争遺児を作らない為に、遺族として出来ることを少しずつでも語り継いで行かなければ・・・と思います。

愚かな戦いは無用です。（略）



益昌から妻への最後の葉書



満亀の父 二神 益昌
中国で戦病死

12月定例会

期 間：12月5日から10日
 承認・可決：補正予算8件、条例5件、
 契約2件、陳情1件
 継 続 審 査：請願1件、陳情1件

12月補正予算

全員賛成

	補正額	補正後予算額
一般会計	1396万円	58億5532万円
特別養護老人ホーム	552万円	3億5505万円
国民健康保険	△33万円	8億3260万円
介護保険	985万円	8億8000万円
後期高齢者医療	△114万円	1億 687万円
給与等集中処理	△3021万円	8億6363万円
大月病院	1783万円	5億6393万円
大月町簡易水道	888万円	1億8975万円

補正の主なもの

- ◆ 一般会計は現年発生災害復旧費
- ◆ 国保、介護、後期高齢者医療、給与等集中処理は配置換えによる人件費の増減
- ◆ 病院は物価高とうによる材料費
- ◆ 簡易水道は修繕費

補正の質疑

災害復旧事業

問 現年発生災害復旧費950万円は、鉾土、清王の河川2件、姫ノ井、唐岩の道路2件の災害復旧費です。



復旧を行う町道唐岩線

防災・減災の事業

問 地域介護・福祉空間整備事業費補助金773万円は。

答 大規模地震の防災・減災のための事業で、「ほほえみ」に発電機を設置する補助金です。

事業継承事業

問 大月町事業継承等推進事業費400万円は。

答 町内の中小企業、個人事業の事業継承と後継者の人材確保等を支援するものです。

修繕料

問 災害対策費の修繕料212万円は、泊浦の避難路の法面を整備するものです。

解説!
**マグロくんの
 ワンポイント**

補正の質疑って？



執行部が、議会で「補正予算」と「補正の主なもの」を説明します。それに基づいて、議員は、疑問に思うことを掘り下げて聞きます。これが「補正の質疑」です。

大月の情報通

マグロくん



12月条例

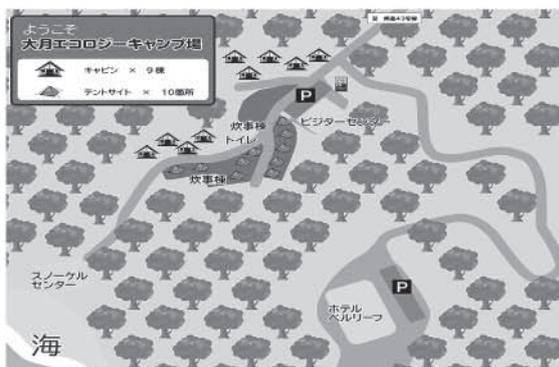
条例改正

全員賛成

- ① 大月アウトドアフィールドKASHINISHIの設置及び管理に関する条例
大月アウトドアフィールドKASHINISHIの設置にともない条例を制定するもの。
- ② 大月エコロジーキャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
宿泊利用料の上限を、テントサイトを4千円から6千円へ、キャビンを1万2千円から2万5千円へ改正するもの。
- ③ 大月町一般職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
町外宿泊料は7千円から上限1万円へ。
県外宿泊料は1万2千円から上限1万5千円へ。ただし、愛媛県宇和島市までは、7千円から上限1万円へと改正するもの。実費支給。
- ④ 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
法改正による条すれの修正。
- ⑤ 大月町印鑑条例の一部を改正する条例
情報システムの標準化等の法改正及び印鑑登録証明の電子化に対応するための改正。

大月アウトドアフィールド KASHINISHI &大月エコロジーキャンプ場

大月町の新たな観光拠点として檜西園地に整備していたキャンプ場が、「大月アウトドアフィールド KASHINISHI」としてオープンします。令和7年4月1日からは大月エコロジーキャンプ場と一体的な管理運営となり、観光客増加による交流人口の増・地域経済の活性化が期待されます。



大月アウトドアフィールド KASHINISHI

12月契約

契約 全員賛成

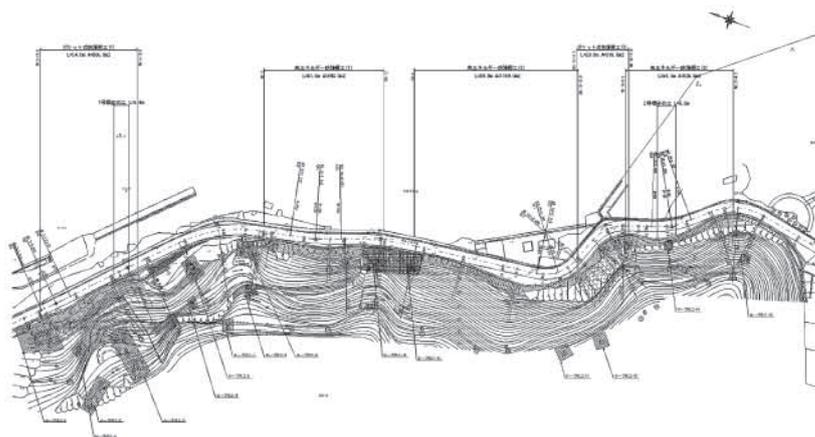
災害時や緊急時の断水等に給水をするため(1000L程度)

契約金額 1868万2520円
契約の相手方 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号
川崎機工株式会社 代表取締役 川崎 信明
契約日 令和6年12月10日
契約期間 契約日から令和7年3月31日



車両一体型給水タンク車
購入業務契約の締結

契約金額 5978万5000円
契約の相手方 幡多郡大月町弘見2337-4
松田建設株式会社 代表取締役 松田 修一
工事場所 大月町古満日字高立山344-5
契約日 令和6年12月10日
契約期間 契約日から令和7年3月31日



浦尻・古満目間の
落石を防ぐため

町道古満目線
落石対策工事請負契約の締結

賛成
関係省庁へ送付

陳情

学校の業務量に見合った教職員配置、長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正、新たな職の創設に対して慎重審議を求め
る意見書

- 1、国の責任で、学校の業務量に見合った教員配置をすすめるため、定数法（義務標準法、高校標準法）の改正をすること
- 2、長時間労働を抑制するため、教員に残業代を支給可能とする給特法の改正をおこなうこと
- 3、「新たな職」の創設には、教育活動への影響を考慮した慎重な審議をおこなうこと

継続審査

◆「大月ふれあい市」建て替えの請願

◆臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情



大月ふれあい市

議会運営委員会

中間報告

- ① 全国議長会からの答申により議員のなり手不足解消に向けての議論を引き続き進めていくこととした。その一つとして、議員の活動を来年一年かけて集計し議論の材料とする。報酬のあり方については、その集約をもつて議論を進めるものの、まずは議会活動の充実を図り、町民の信頼関係を築いていく。
- ② 町民の声を議会に反映するため、**来年度地区懇談会を開催する**。開催時期は4月から5月にかけてと9月議会終了後に全地区を対象として計画する。懇談のテーマは、「防災・産業振興」の二つに絞る。議会の活動報告を地区の皆さんと懇談会方式で行ない、その意見の集約は来年度末の3月議会を目途とし、詳細については全員協議会で審議する。
- ③ 各委員会等の通信ツールとして、通信費の節約と俊敏な連絡の方法として「LINE」を活用することを申し合わせた。
- ④ 決算時期においての全員協議会で、決算の審議を深め、**来年度の予算に反映させること**の意見も出された。



新谷 伸 議員

防災

避難路の管理は

現実的に無理な状況／町長



地区維持管理避難路

問 避難路の維持管理は、各地区に依頼しているが、高齢者が多くなり維持管理が難しくなっている。どの様に補助していくのか。

岡田町長 本町における津波避難場所は、現在96か所です。

維持管理は、地区が行うものとして対応をいただいています。96か所全て町が管理することは、現実的に無理な状況にあります。今後におきましても各地区の自主防災組織などと連携を密にし、協議しながら地域の実情に沿った改善等に努めていきたいと考えています。

福祉

洋式トイレを

必要に応じて／町長

問 各地区の集会所・老人憩の家の和式トイレは、足腰の痛みを訴える方も増え利用しづらいつつあることだが、洋式トイレへの対応は。

岡田町長 集会所は各地区の所有ですので、トイレ改修であれば、住みよい環境づくり推進交付金を活用することが出来ます。町の施設である老人憩の家のトイレは、状況を確認し稼働状況等、利用頻度も考慮し必要に応じて検討したいと思えます。



長期避難所・備蓄倉庫



老人憩の家のトイレ

衛生管理

災害時トイレは

検討していきたい／町長

問 1月には能登半島地震があり、トイレ問題が大きく取り上げられた。大月町の長期避難所の最大避難者数の想定と携帯トイレの備蓄数は。

岡田町長 避難生活を行う長期避難所につきましては、町内7か所の施設を指定避難所としています。7か所の受け入れできる避難者数は、約1800人を想定しています。備蓄している携帯トイレは組み立て式簡易トイレを12基、折り畳み式簡易トイレを7基備蓄しています。また、屋外の循環トイレなどの整備を進めています。追加整備を含め検討して

いきたいと考えています。

問 一時避難について、屋外避難所のトイレにパーテーションをつけるといふ考えは。

岡田町長 一時的な避難に必要な物資等には、各地区の自主防災組織の補助金を活用し、整備または管理していただくようになっていきます。プライバシー配慮などの把握できているのが現状です。何らかの配慮は必要と思われるので、自主防災組織の中でぜひ協議していただきたいと思います。



安岡 利治 議員

産業振興

農業公社設立は

設置は厳しい／町長

問 農業の現状は、後継者不足がますます厳しさを増し、耕作放棄地が増加している。農業公社を主体とした新たな事業への取り組みが必要ではないか。

岡田町長 農業公社を設立し、農事組合法人と連携を図り、耕作面積の拡大による農業振興を図っていくことは有効な手段だと思いますが、農業公社などの専門機関の設立は、非常に厳しいのではないかと考えます。

問 農業公社の重要性の一つには、研修事業によって新規就農者の育成・自立支援を図り、一人でも多くの就農者を確保することが求められているのではないかと。

岡田町長 研修制度につきましても、国・県補助金を活用し、親元就農による就農支援を中心に進めるとともに、県や農協と連携しながら、幡多6市町村が推進する9品目において、幡多地域全体として研修生を受け入れ連携し、新規就農者の確保・育成・産地振興に取り組んでいます。



土地利用型圃場

公社研修制度

土地利用型での

農業研修制度は

幡多広域研修制度の

活用／町長

問 研修後の就農時に おける初期投資が大き な負担となる場合が生 じる為、研修品目を土 地利用型の特性を持つ た品目で行ってはどうか。

岡田町長 令和6年度 より開始されました幡 多地域広域産地提案書 に基づく農業研修生の 受け入れを実施しなが ら、地域特性を生かし た多様な複合経営も、 地域の皆様のご意見を 取り入れながら取り組 みをしていきたいと考 えます。

本町の農業全体的な 推進といたしましても、 地域計画の策定を令和 6年度末までの完成を 目標に地域の意見集約 を進めています。地域 計画を今後の農業振興 に反映していきたいと 考えています。

問 本町における農業 公社の設立は、多くの 課題があることは理解 できるが、大月町の特 産品目での就農を目指 して研修を希望される 場合には、大月での研 修制度の立ち上げが必 要ではないか。

岡田町長 農業公社の 設立が厳しい点は、新 規就農研修生の受け入 れが必須であると考え ます。継続的な研修生 の確保、研修品目の選 定が課題となっていま す。その際、公社を維 持運営して行くには、 研修生を複数人常に確 保できるか課題です。 多くの課題の取り組み を必要とする為、幡多 地域広域産地提案書に 基づき進めていきます。

土地利用型とは

水田や畑を使って露地 野菜及び果樹品目を育 てることです。



広がる耕作放棄地

避難路の保全

町による定期的な点検は

基本は地区管理、相談があれば／町長



松田 照代 議員



避難誘導看板

問 移動経路の安全確保の観点から、避難路の定期的な点検はどのような頻度と内容で行っているか。

岡田町長 点検や管理は、地区が行うものとして対応していただいています。危機管理室職員も年度当初、町内全域の現地確認作業を行っていますし、各地区からの個別相談や、各種訓練、関連施設や機器の修理対応等のタスキミングで、確認を行っていますような状態です。

問 避難を強いられる時間帯は決して明るい時間帯ばかりではない。足元が暗い場所には街灯の設置が必要であると思うが。

岡田町長 街灯などの設置による明かりの確保は、安全な避難を行ううえで有効な手段です。しかし発災時停電により消えてしまうということが想定されます。ソーラー充電式は設置費用が高額、交換費用が発生する等の課題もあります。要望があれば、地区と協議等を行い対応策について検討させていただきますが、まず自助の取り組みもしっかり行っていただきたいというふうに考えています。

避難場所の見直し

避難困難者が増えている

要支援者として共助を／町長



急勾配が続く避難路

問 避難場所を指定した頃より大幅に高齢化が進んでおり、避難場所まで到達が困難な方も増えている。避難場所と備蓄倉庫の位置の見直しは行っているか。行っていないなら、対応する予定はあるか。

岡田町長 見直しは行っていません。想定される最大クラスの津波浸水区域外となる目標地点を設定、地区からの要望に応じ、避難場

所・経路・避難路の整備を行ってきました。避難が困難な高齢の方への対策・対応につきましては、避難行動要支援者として共助の取り組みの充実、事前高台移転を含めた対策の検討を行っていきたいと考えています。



笹木 章弘 議員

町長の展望

今後の大月町をどのようにしていくか

財政状況を鑑み、判断していく／町長

問 町長の12年間の実績は、前町長からの引継ぎで柏島保育所を統合しおおつき保育所・デイサービスさんご・成ヶ丘団地・弘見団地の4物件と思う。今後の大月町をどのようにしていくのか。

岡田町長 私の12年間の実績は、4物件以外に30年大水害で被害の大きかった泊浦川を完成させ、現在田城川改修工事に取り組んでいます。その他各地区に避難路の整備、県道中村宿毛線整備要望、春遠第一ダムは令和9年3月完成予定です。 商工関係では、柏島小学校跡地駐車場整備があります。今後財政面や費用対効果、町民の皆様の意見を頂戴する中で誠心誠意取り組んでいきます。



大月病院の運営をどうしていくか

問 病院、避難所、老朽化した公民館は極めて重要かつ危険な施設と言える。これらの早期着工・早期完成を目指すべきと考える。一連の答弁からして建物のリニューアル等は今後の4年間に進まないということか。

岡田町長 進まないとは言いませんが、喫緊の課題であることは承知しております。財政状況と相談をしながら

真に必要なインフラ整備については優先順位をつけてと申し上げたわけです。

問 町長は公務出張が頻繁にあるが、今年1年間の出張は何回行ったか。どのような効果があったか。

岡田町長 令和6年度現在で町内外含めて31回です。大月町単独は無く、幡多6ヶ市町村一同や梶原・津野町・中土佐町含めた高幡地域、四国西南は宇和島から鬼北・愛南町、四国四県の団体で行った出張と、本州栃木自治医大に行きました。県内からの学生に、卒業後は県内に帰ってもらえる呼びかけです。高速道路は、宿毛和田から宇須々木間に調査費がついたことは成果です。

財源獲得

財源の取り込みを図るべき

努力をしている／町長

問 人口激減により、普通交付税は5年で1億ずつ減少している。財源不足をどうするか。

岡田町長 各種の要望活動を行うことで、国・県が実施する事業の予算化・予算額の確保、大月町が実施する事業

の財源となる国・県の補助金・交付金の配当等があると考えています。県道中村線期成同盟会の一員として要望活動を行った結果、6年度当初予算4億5千万円の配分相当の予定です。



老朽化した中央公民館

町の管理責任

不明船処理は不適正

適正な手続きで処理／町長



浦木 秀雄 議員



漁業の盛んな安満地漁港

問 組合員資格問題で、すくも湾漁協は県から行政指導を受け、行政処分が下されていることを町は把握しているか。

岡田町長 行政処分は5月と8月に出来ていると聞いています。内容については、年一回漁業者の資格審査は行われているが、その審査において資格要件の確認が適切に行われていないため、資格審査を適正に行うよう、また可能な限り早急に改善するよう指導があったと聞いています。

問 町が不明船と処理した中に私の船だと主張する人がいるが、どのように考えるか。

岡田町長 所有者判明船だと話のあった船舶は、登録が抹消されており、漁港施設に不法に放置されていたものです。すくも湾漁協の地区管理運営委員会に所有者情報を諮って、不明船である旨の回答をいただいているから処理をしたということですが、不明船の中に判明船が入っていませんし、処理済で今後調べることができません。

社協への支援

支援強化を

順次実施／町長

問 社協との協議の結果、経営上の課題は。

岡田町長 社協の課題は、人件費の高さによる経常収入の減少、物価高とうによる経常支出の増加による経営悪化、退職者に伴う人材不足などです。

問 社協の財政支援、人的確保もふまえた全般的な改善策は今後どのように行なっていくつもりなのか。

岡田町長 決まった事項から順次実施・支援し、3月定例会におい

て、予算案の提案など、何らかの形によりお示しできればと思っています。「高原の郷」の運営再開については、社協との協議を進めながら、総合的に判断をしたいと考えています。



社協は福祉に大きく貢献

活力ある産業のまち
将来を見据えて部下育成を

育てるために取り組む／町長

問 農林業・水産業・商工業・観光交流・雇用対策を分析した課題や、その解決に向けた取り組みは。

岡田町長 課題は、担い手や後継者不足があげられます。その為、各種事業におきまして新規就業者への支援対策に取り組んでいます。

問 副町長、課長の政策決定への参加や相互交流など、町の将来を見据えて、部下を育てる仕事をすべきでは。

岡田町長 政策決定は町長の権限ですが、管理職や部下を含めて、育てるために取り組んでいきたいと考えています。



米谷 勝市 議員

学童保育

全保護者対象の行政説明会は

納得してもらい
進めなければならない／教育長

問 独自アンケートの結果、放課後子ども教室と学童保育の違いを理解出来ない保護者も多いのが分かった。働きたいのに働ける環境が整備されていないシングル家庭やお母さんの為に、放課後子ども教室と学童保育の違いを行政がしっかり全保護者対象に説明会をすべきではないか。

伊与田教育長 放課後子ども教室については、毎年小学校への入学時説明会にて事務局の職員が目的や仕組みなどを説明しています。疑問点があれば個別に説明しており、今後行なっていく事業には、関係部署と連携を図りながら、周知徹底し、住民に納得してもらってやっ行って行かなければならないと考えています。

防災

地区の実情にあった対応を

追加設置は対応／町長

問 沿岸部並びに急勾配の階段、お墓の間を通るような避難路を部分的にも行政管理ができないか。

岡田町長 避難路は自助・共助の意識を高める為、地区が行うものとして対応して頂いています。安全な避難行動を行う為、手すりなどの追加設置が必要である場合には、その都度、現地確認や地区との協議を行いながら対応させて頂ければと考えています。

えています。

問 青色だけでなく赤・黄・青など色分けによる海拔表示の増設を図る事で住民や観光客の注意喚起を促すべきではないか。

岡田町長 海拔表示は国土交通省が示している設置に関する仕様に基づき青色での表示が統一されていますので現在変更の予定がありません。



お墓の間を通る危険な避難路

観光振興

マグロの町はやめたのか

大々的にやっている／町長

問 大月町唯一のPR資源のマグロを使わない手はないと考えている。町のホームページを含め「マグロのまち大月」の文言がどこにも見当たらない。「マグロのまち大月」はやめられたのか。これ以上ない観光資源を県内外でのPRの考えはあるか。

岡田町長 ホームページにはキャッチフレーズは載せていませんが、マグロ祭in大月産業祭ではマグロの町ということを大々的にアピールしており、3000人を超える方が来場してくれています。マグロ祭in大月産業祭や、マグロの町大月町推進協議会の活動により、引き続きPR活動を実施したいと考えております。



県外での大月町産マグロ解体ショーの様子



下渡泰司さん・宏子さん
たいじ ひろこ

幸せは自分の 時間を持つこと

大切なことを

教えてくれました

仕事をやめる

コンピューターを扱う会社に5年勤めました。遅くまで仕事をすることが続き、これでもいいのかと思うようになり仕事をやめました。父親には、「お前は仕事をしたくないのか」と言われました。

世界を放浪する

それから、世界を旅するようになりました。現地の人は、生活は苦しいのですが、みんな幸せそうに見えました。笑顔なんです。どうしてなんだろうと考えるようになりました。

ある気づき

それから気がついたのです。コンピューターの仕事をしていたときは、ものを考えていなかったのだと。忙しすぎてものを考えられなかったのだと。それは幸せではないのじゃないのかと。

現地の人は、家族と過ごす時間をいっぱい持っている。自分で使える時間をいっぱい持っている。そうしてものを考える時間を持っている。それが幸せというものじゃないかと。

今は幸せです

だから、そんな時間を過ごしたくて大月町に来たのです。今の生活に満足しています。今は幸せです。生活は楽とはいえませんが、家族と過ごす時間、自分の自由になる時間、自分で考えられる時間をいっぱい持っているからです。

笑顔が印象的

下渡さん家族は、薪で煮炊きをしています。子ども達はたくましく裸足で走りまわっています。下渡さん夫婦のおだやかな笑顔が印象的でした。

(取材 浦木秀雄)

編集後記

議会だよりを読んでいただき、ありがとうございます。第18期の議会議員がスタートしました。大月町の未来のために議員全員で取り組んでまいります。

町民の皆様は、地域で支え合うことができる町民性が強く、地域も活気があると感じています。しかしながら、人口減少、高齢化が進み若者が少なく、将来の不安な思いをよく聞きます。若者の働く場所もない、帰って来たくても仕事がない、そんな声もあります。今こそ町民の皆様と共に考えていく、そんな場を作っていきたいと思います。

(依岡一生)

編集委員

- 委員長 浦木 秀雄
- 副委員長 依岡 一生
- 委員 米谷 勝市
- 委員 笹木 章弘
- 委員 松田 照代

発行／高知県大月町議会
編集／議会広報常任委員会

高知県幡多郡大月町弘見2230
TEL(0880)73・1682

印刷
有限会社 宿毛印刷